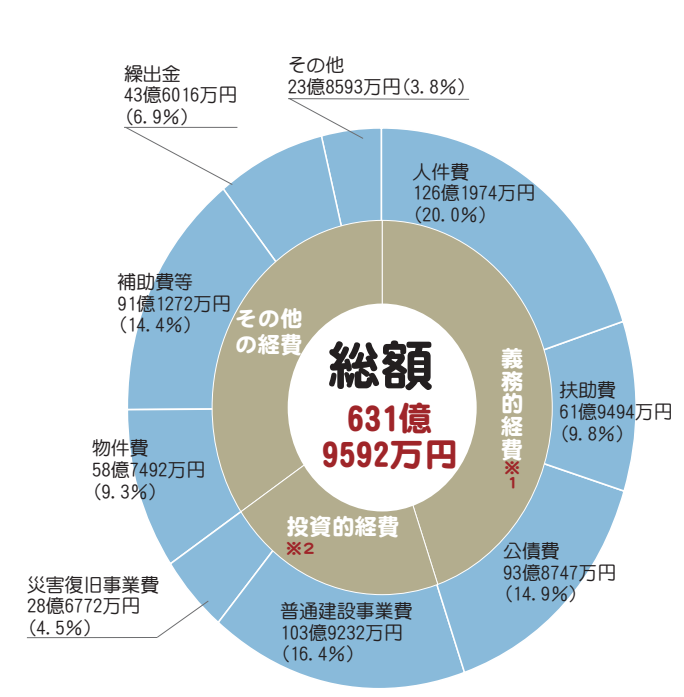


# 20年度 財政状況をお知らせします

図1 ■ 一般会計歳出予算の性質別内訳



20年度の一般会計最終予算と3月31日現在の歳入歳出の状況は表1のとおりで、一般会計の最終予算額は631億9592万円です。このうち歳出を経済的性質を基に分類した内訳は、図1のとおりです。これに対する3月31日現在の収入額は48億4753万円で、予算に対する収入率は77.0%となっています。また、支出額は466億1993万円で、予算に対する執行率は73.8%となっています。一般会計における地方債の借

り入れおよび年度末現在高見込みは、表2のとおりです。20年度末の市民1人当たりの地方債残高見込みは、62万1050円となります。特別会計の歳入歳出の状況は表3のとおりとなっています。20年度の決算は、5月末までの出納整理期間※5中の歳入歳出をふまえ、市議会による認定を経て、広報でお知らせします。

**用語の解説**

- ※1 義務的経費：人件費（職員給与や議員報酬など）
- ※2 扶助費：生活保護費や児童手当などの福祉施策経費
- ※3 公債費：市債償還金など（を合計したもので、その支出が義務付けられ任意に削減できない経費）
- ※4 投資的経費：道路、学校の建設など、社会資本の整備や災害復旧に要する経費
- ※5 自主財源：市税や使用料などが自主的に収入することができる財源
- ※6 依存財源：地方交付税、国庫支出金など、国や県から交付される財源や市債など
- ※7 5 出納整理期間：会計年度終了後に未収未払いの整理のみを行う4月1日から5月31日までの期間

表1 ■ 一般会計の歳入歳出状況

		歳入 (単位:万円、%)		
区分	予算額	収入済額	収入率	
自主財源※3	市税	121億5225	114億7581	94.4
	線入金	1億7861	1億3985	78.3
	諸収入	12億6648	8億7266	68.9
	分担金及び負担金	8億8090	7億8666	89.3
	使用料及び手数料	4億4761	4億1172	92.0
	その他	27億8561	26億6763	95.8
依存財源※4	地方交付税	219億7241	220億8253	100.5
	市債	66億939	20億6128	31.2
	国庫支出金	88億7581	35億6415	40.2
	県支出金	52億5976	22億9584	43.6
	地方譲与税・交付金	27億6709	22億8940	82.7
<b>計</b>	<b>631億9592</b>	<b>486億4753</b>	<b>77.0</b>	

		歳出 (単位:万円、%)		
区分	予算額	支出済額	執行率	
総務費	88億9740	54億1548	60.9	
民生費	122億7661	112億7511	91.8	
衛生費	58億9575	43億916	73.1	
農林水産業費	43億435	30億7530	71.4	
商工費	17億6040	13億1290	74.6	
土木費	69億7179	27億4801	39.4	
消防費	24億8780	22億3183	89.7	
教育費	76億1919	55億9058	73.4	
災害復旧費	30億7163	8億8735	28.9	
公債費	93億8778	93億6311	99.7	
その他	5億2322	4億1110	78.6	
<b>計</b>	<b>631億9592</b>	<b>466億1993</b>	<b>73.8</b>	

表2 ■ 地方債借り入れと年度末現在高見込み

19年度末現在高	776億3299万円
20年度中借り入れ見込み額	60億1908万円
20年度中元金償還見込み額	80億4418万円
20年度末現在高見込み	756億789万円 (591億767万円)
市民一人当たり残高見込み	62万1050円 (48万5516円)

※( )は、元利償還金の全額が地方交付税として交付される臨時財政対策債、減税補てん債などを除いた公共事業に充てた市債の額

表3 ■ 特別会計の歳入歳出状況 (単位:万円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国保(事業勘定)	119億6087	99億1687	107億3049
国保(直営診療施設勘定)	7億1206	3億2889	6億1158
老人保健	12億3353	10億7228	11億6702
後期高齢者医療	10億6927	6億9777	8億7370
介護サービス事業	4341	2548	4097
土地取得事業	365		365
金沢財産区	1041	918	215
土地区画整理事業清算	22	69	22
都市施設等管理	9514	9109	5491
工業団地整備事業	1億856	622	1億675
市営バス事業	1億3858	4052	1億1914
簡易水道事業	22億9012	3億6906	17億4453
下水道事業	43億6960	12億4945	34億1972
農業集落排水事業	3億629	5370	2億8798
浄化槽事業	2億74	5530	1億6864
物品調達	3697	2450	2435

## 20年度 情報公開、個人情報保護制度の状況

市民の市政に対する理解と信頼を深め、市政への参加を促進し、公正で開かれた市政を推進するため、市が保有する情報の提供や公開を行う情報公開制度。市民の個人情報に適切に管理し、その権利や利益を保護するため、市が行う個人情報の収集や利用などについての基本的ルールを定めた個人情報保護制度。これらの20年度の運用状況についてお知らせします。

### 情報公開制度の運用状況

1 請求、申し出の状況  
20年度における開示請求(情報公開条例の適用を受ける公文書)

表1 開示請求、任意開示申出の決定・回答の状況

区分	申請件数	決定・回答の内容					取り下げ
		全部開示	部分開示	不開示	存否応答拒否	不存在	
開示請求に対する決定	37	22	8	0	0	7	0
任意開示申出に対する回答	3	2	1	0	0	0	0
合計	40	24	9	0	0	7	0

書が対象は37件、任意開示申出(合併前の旧市町村の公文書)開条例または情報公開条例施行前に作成、取得した公文書が対象は3件で、合わせて40件でした。これらについての決定・回答の状況は、表1のとおりです。

6 審議会などの公開  
審議会などの会議の公開に関する要綱に基づき、審議会の開催案内および開催結果について、ホームページおよび市民の室への掲出を行いました。

催案内および開催結果について、ホームページおよび市民の室への掲出を行いました。

1 自己情報の開示請求の状況  
20年度における自己の個人情報

表3 自己情報開示請求の処理状況

請求件数	決定の内容					取り下げ
	全部開示	部分開示	不開示	存否応答拒否	不存在	
請求の対象情報の内容別処理件数	0	2	0	0	0	0
	消防に関するものなど 2件					

報の開示請求は、2件でした。請求の決定内容、対象情報の内容状況は、表3のとおりです。なお、自己情報の訂正請求、取り扱いは正の申し出および不服申し立てはいずれもありませんでした。

2 個人情報保護審議会の状況  
①開催日：20年5月23日  
②案件：▽個人情報保護制度の運用状況について▽個人情報保護条例に規定する個人情報の収集などの例外的な取り扱いについて  
③審議結果：「個人情報の収集などの例外的な取り扱いについて」を諮問し、答申をいただきました。

◎問い合わせ先  
本庁総務課法規文書係  
☎8221